令和元年度行政評価 事務事業評価シート（平成30年度実績）

事務事業コード	060101010	予算コード	01009700
事務事業名	コミュニティバス事業		
担当課	道路公園課		
根拠法令等	市単独事業 ■要綱・要領 泉佐野市コミュニティバス運行経費補助金要綱		

従事人員（人）	
正規職員数	0.06
嘱託職員数	0
臨時職員数	0
歳出（千円）	
人件費総額	529

投入コスト（千円）	
国庫支出金	0
府支出金	0
市債	0
その他	0
一般財源	46,227
減価償却費	0
事業費	45,698

評価	評価点
有効性	B
効率性	該当なし
妥当性	B
受益者負担	該当なし
緊急性	C
公的関与	A
実施主体・委託化	C
他の事務事業との関連	A
透明性	B
財政健全化計画	該当なし
財政健全化の取組	該当なし
改革改善プラン達成度	該当なし

一次評価	B

地域住民の生活に密着した交通の確保については、市町村の役割が極めて重要であり、近隣自治体においてもバス事業者との協調によるコミュニティバスの運行が行われている。今後も交通弱者の交通手段、交通空白地の解消を図るため、地域住民の要望にあったバスの運行が求められる。平成２７年１０月から利用者運賃の無料化、平成２７年１２月より日曜日及び祝日に観光周遊バスを運行。

事務事業類型	運営事業
実施手法	補助・負担

フルコスト（千円）	46,227
市民1人当りコスト（円）	459

対象

不特定の市民　対象数

特に、高齢者・障害者等の交通弱者及び観光客

事業の内容

南海泉佐野駅を起点に、路線バスが運行していない地域の交通利便性の向上を図り、市内主要公共施設などを結ぶ巡回バスとしてコミュニティバスを「北回り」「中回り」「南回り」の３コース運行。また、日曜日・祝日には、泉佐野市を訪れる観光客が市内の観光地並び商業施設を巡ることができるように観光周遊バスを、バス事業者と共同事業という位置付けで事業を実施。

事業の目的

路線バスが運行していない地域や市内主要公共施設などを結ぶ巡回バスを運行することにより、市内の交通利便性の向上、公共施設の利用促進を図る。また、泉佐野市を訪れる観光客が市内を巡るための交通手段の確保。

活動指標	H30実績
運行便数（コミュニティバス）	6,420.0
運行便数（観光周遊バス）	640.0

成果指標	H30実績
年間利用人数（コミュニティバス）	160,494.0
年間利用人数（観光周遊バス）	6,595.0

コスト指標	H30実績
利用人数一人当たりの事業費	277.0

事務事業実施内容

利用人数 167,089人